

経済動向調査のまとめ

令和5年度 第4四半期 (1月~3月)

1. 兵庫県の景気動向

(令和6年4月17日発表 産業労働部地域経済課による兵庫県の経済・雇用情勢を集約)

① 景況

現状 (良い-悪い) 構成比 (%ポイント)

区分	R5.6	R5.9	R5.12	R6.3	R6.6(予測)
全産業	9	10	18	14	8
大企業	13	21	24	19	14
中堅企業	11	15	18	10	6
中小企業	5	2	15	14	6
うち製造業	▲1	6	13	9	6
うち非製造業	20	15	23	21	11

出所：県内企業短期経済観測調査 (日本銀行神戸支店)

企業の業況判断は、足もと悪化し、先行きは慎重な見方となっている。

② 需要

項目	R3年度	R4年度	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2
商業販売額:億円	18,016	18,529	1,577	1,573	1,887	1,537	1,453
(前年度比増減率%)	(+ 0.3)	(+ 2.8)	(+ 3.1)	(+ 4.6)	(+ 0.4)	(+ 2.1)	(+ 5.7)
乗用車販売台数:台	141,627	144,966	13,496	13,596	12,186	12,066	12,803
(前年度比増減率%)	(▲ 7.3)	(+ 2.4)	(+16.0)	(+8.7)	(+4.3)	(▲10.1)	(▲11.4)
新設住宅着工戸数:戸	29,844	31,911	3,240	2,275	2,312	1,537	2,267
(前年度比増減率%)	(▲ 2.3)	(+ 6.9)	(▲ 1.0)	(▲ 22.4)	(▲ 12.8)	(▲ 44.6)	(+ 8.9)
神戸港輸出額:億円	61,512	73,698	6,523	6,394	6,890	4,970	5,877
(前年度比増減率%)	(+ 23.6)	(+ 19.8)	▲ 2.5	▲ 3.7	▲ 0.0	(+5.0)	▲ 1.7

出所：商業動態統計 (経済産業省)、新車登録速報 (日本自動車販売協会連合会兵庫県支部)、軽自動車新車届出状況 (兵庫県軽自動車協会)、住宅着工統計 (国土交通省)、神戸港貿易概況 (神戸税関) (商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース)

項目	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度(見込)	R6年度(計画)
設備投資額(前年度比増減率%)	2.4	▲ 13.4	8.3	▲ 0.4	14.9
(H27年度比:H27=100)	(116.6)	(101.0)	(109.3)	(108.9)	(136.2)

出所：県内企業短期経済観測調査 (日本銀行神戸支店)

個人消費は、回復に向けた動きが広がっている。

輸出は、増勢が鈍化している。設備投資は、増加計画にある。

③ 生産

項目	R3年度	R4年度	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1
鉱工業指数:R2=100	101.4	101.8	96.5	94.8	94.7	99.1	92.3
(前月比増減率%)	(+ 2.7)	(+ 0.4)	(+ 0.2)	(▲ 1.8)	(▲ 0.1)	(+ 4.6)	(▲ 6.9)

注) 月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

出所: 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

生産は、弱めの動きがみられる。

④ 雇用

項目	R3年度	R4年度	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2
有効求人倍率(季節調整値):倍	0.94	1.03	1.01	1.01	1.01	1.02	1.03
新規求人数(原数値):人	28,235	29,795	31,918	26,874	29,099	31,315	29,459
(前年度比増減率%)	(+ 5.3)	(+ 5.5)	(▲ 1.9)	(▲ 8.6)	(+ 0.9)	(▲ 0.3)	(+1.7)
雇用者所得計:億円	5,340	5,510	4,810	5,131	10,114	4,914	-
(前年度比増減率%)	(▲ 1.4)	(+ 3.2)	(+ 2.7)	(▲ 2.9)	(+ 8.5)	(+ 3.6)	(-)

注) 有効求人倍率の年度値は原数値、雇用者所得計の年度値は年平均 出所: 一般職業紹介状況(厚生労働省兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

有効求人倍率は、前月を上回った。雇用者所得は、全体として改善の動きがみられる。

⑤ 金融

項目	R4年度	R5年度	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
企業倒産件数:件	368	568	61	49	51	46	60
(前年度比増減率%)	(+11.9)	(+54.4)	(+110.3)	(+48.5)	(+45.7)	(+43.8)	(+25.0)
企業倒産負債総額:億円	649	6,808	49	29	37	34	29
(前年度比増減率%)	(+120.5)	(+948.6)	(▲40.7)	(+14.5)	(+213.7)	(▲75.3)	(▲31.1)

出所: 兵庫県企業倒産状況 (東京商工リサーチ神戸支店)

倒産件数は、前年を上回った。

～県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント～

管内の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに回復している。設備投資は、増加している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、増勢が鈍化している。

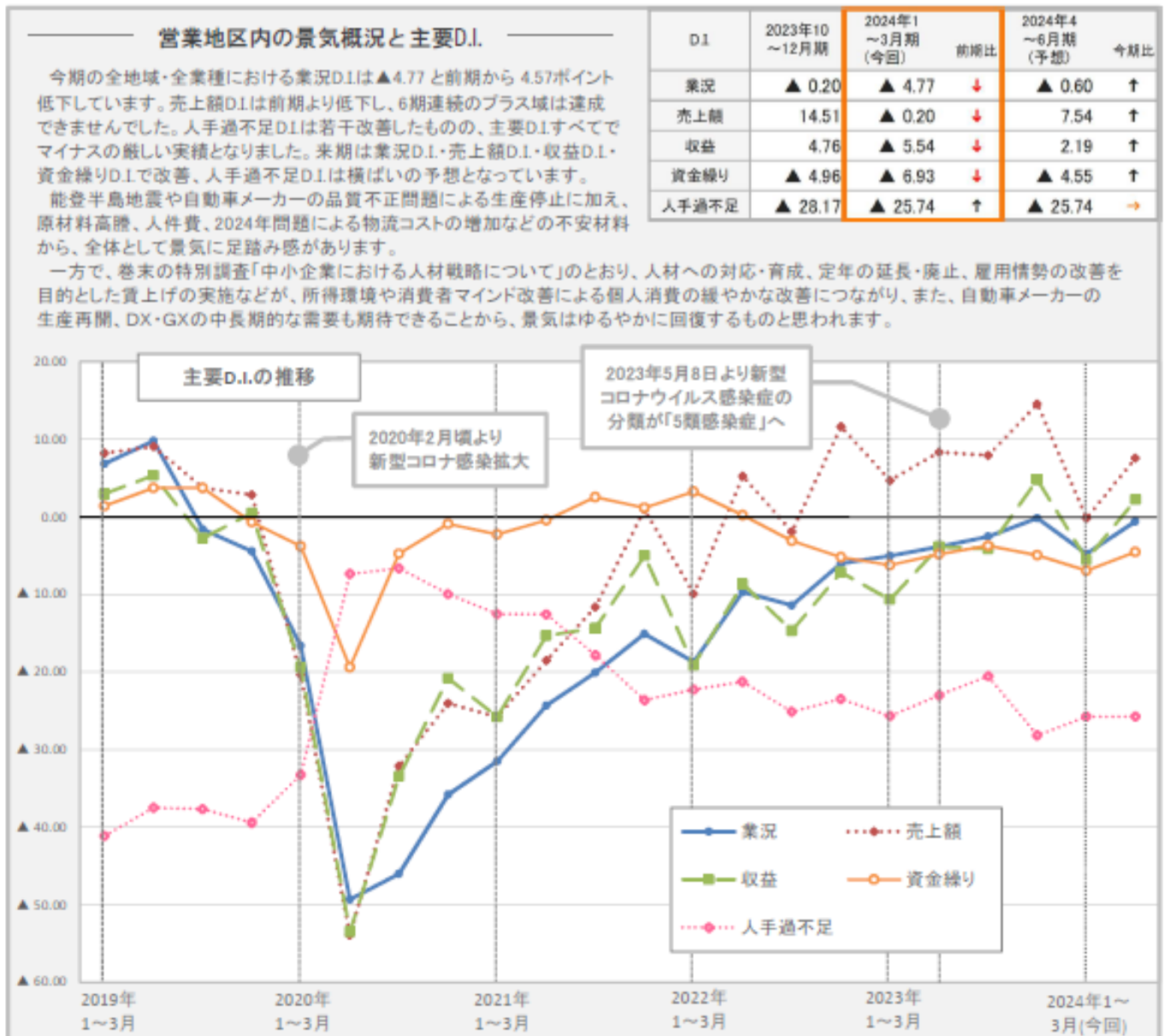
こうした中、生産は、一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては横ばい圏内で推移している。雇用・所得環境は、全体として緩やかに改善している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している。

(令和6年4月12日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

2. 地域における景気動向

(但陽信用金庫 景気動向調査レポートより 2024年 1~3月期)

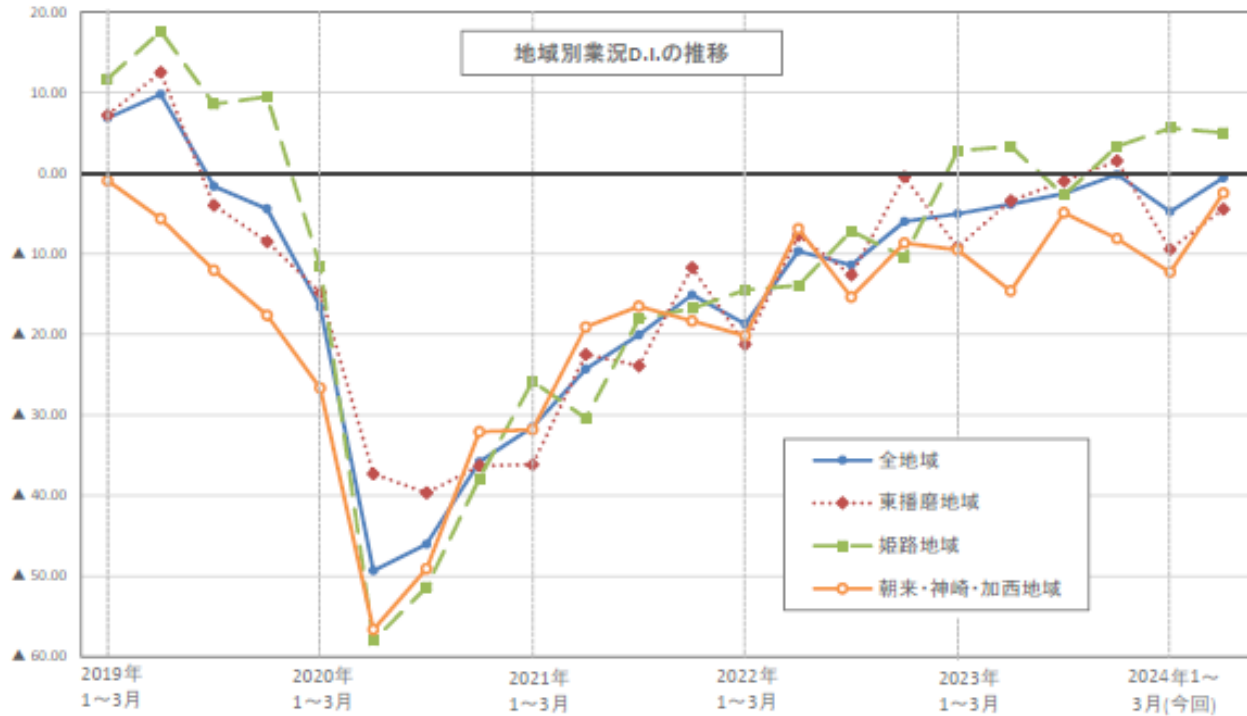
※ D.I. (Diffusion Index)とは 「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽」と回答した企業の占める割合と、「悪い」「減少」「下降」「不足」「苦しい」と回答した企業の割合との差により、景気の方角を判断する指数です。



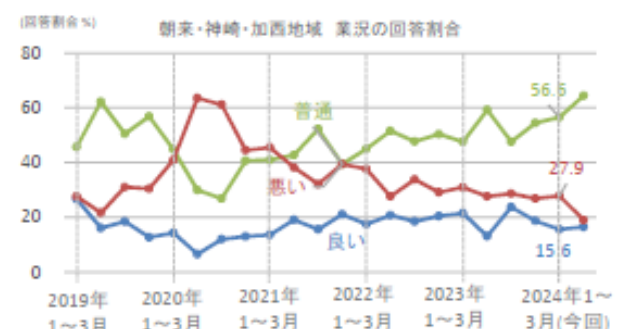
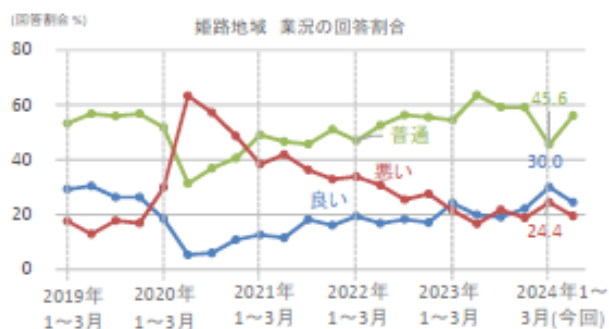
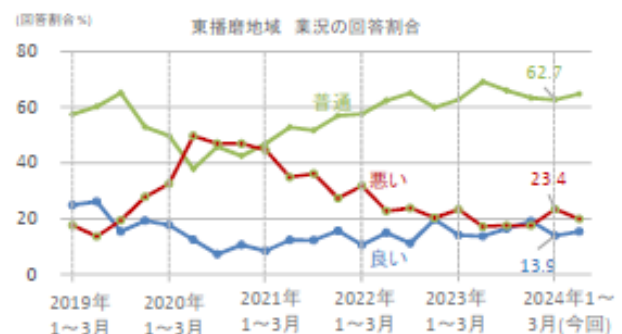
営業地区内地域別業況D.I.

今期の地域別業況は、東播磨地域が ▲9.45 と 10.96 ポイント低下、姫路地域が 5.56 と 2.25 ポイント上昇、朝来・神崎・加西地域は▲12.30 と 4.17 ポイント低下しています。来期は今期実績とは対称的に、東播磨地域と朝来・神崎・加西地域で改善、姫路地域が若干悪化する予想となっています。

地域 (回答数)	2023年10 ～12月期	2024年1～ 3月期(今回)	前期比	2024年4～ 6月期(予想)	今期比
全地域	508	▲ 0.20	▲ 4.77 ↓	▲ 0.60 ↑	
東播磨地域	202	1.51	▲ 9.45 ↓	▲ 4.48 ↑	
姫路地域	181	3.31	5.56 ↑	5.00 ↓	
朝来・神崎 加西地域	125	▲ 8.13	▲ 12.30 ↓	▲ 2.48 ↑	



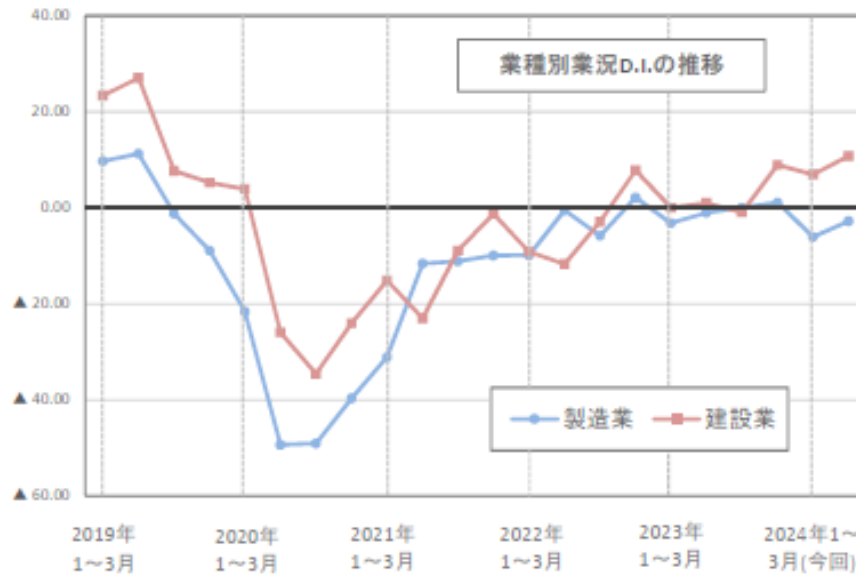
地域別業況D.I.の回答割合



営業地区内業種別業況D.I.

業種別では、製造業・サービス業・小売業・卸売業・建設業が前期から悪化し、不動産業は若干改善しています。来期は、製造業・サービス業・不動産業・小売業・卸売業・建設業のすべてにおいて改善が予想されています。

業種	2023年10 ～12月期	2024年1～ 3月期(今回)	前期比	2024年4～ 6月期(予想)	今期比
製造業	1.10	▲ 6.08	↓	▲ 2.78	↑
サービス業	▲ 1.30	▲ 2.60	↓	▲ 1.30	↑
不動産業	▲ 6.90	▲ 3.33	↑	0.00	↑
小売業	▲ 12.12	▲ 15.38	↓	▲ 6.15	↑
卸売業	▲ 2.08	▲ 14.58	↓	▲ 8.33	↑
建設業	8.91	6.86	↓	10.78	↑



業種別業況D.I.の回答割合

